

第 3 次新昭和切手

発行年月日	額面	通 称		印刷方式
1948/9/10	1円50銭	第3次新昭和切手	数字	平版
1948/1/10	2円	第3次新昭和切手	清水寺	凸版
1948/9/10	3円80銭	第3次新昭和切手	数字	平版
1947/5/15	10円	第3次新昭和切手	円鏡平螺鈿背	凹版

●第 3 次新昭和切手

1948-09-10 《#308》数字 1.5 円
1948-01-10 《#309》清水寺 2 円
1948-09-10 《#310》数字 3.8 円
1948-04-15 《#311》縦螺鈿 10 円
参考：1948-09-20 《C0134》熊本展 s/s

1948 年になり、ようやく国名表示が統一された。また、桜切手以来、日本切手に常に描かれた菊の御紋が消えた。

「さくらカタログ」では、菊花紋章のない「日本郵便」左書の 4 種の新昭和切手を、第 3 次新昭和切手と分類している。4 種だけなので、「組合カタログ」では独立したグループとはせず、第 2 次新昭和切手に含めている。また、透無 10 円螺鈿や透無 4 円初雁を、新昭和切手に含む案もある。

●製造面

：版式 ：目打形式 ：

1.50 円：オフセット：普櫛・横櫛・変形横櫛・逆櫛：
2 円 ：凸版（輪転）：全型 ：
3.80 円：オフセット：普櫛 ：
10 円 ：凸（平・輪）：普櫛 / 横櫛（平）・全型（輪）：

銘版：⑩「印刷局製造」 輪転版は 98 番 平面版は 95-96 番
シート構成：10 × 10 = 100 面
用紙：灰白紙～粗白紙（後期印刷の一部）

●使用面

使用例：10 円の輪転板は貴重（未使用も少ない）。3 円 80 銭切手の使用例が難しい。
使用済マルチプル：豊富（別納由来）。3.8 円がやや少ない程度。
消印の種類：2 円の他は、種類が乏しい。

- ①櫛型印：3 星・為替・年賀・鉄郵など
- ②機械印：1.5 円は葉書加貼用なので波型・標語入が多い。
：2 円も葉書料金に適応が広がり、機械印が多い。
- ③ローラー印：左書・縦書は多いが、右書は希少。
：3.8 円には昭和 30 年以降の遅い別納使用が多い。
- ④欧文印：10 円には多いが、半端な額面の数字 2 種には少ない。
：櫛型印はあるが、三日月印・ローラー印は希少。



